



仙台杜都道院ギョーザパーティー

仙台杜都道院主催では、新入門者の歓迎会を兼ね「餃子パーティー」を古城コミュニティセンターで開催します。本格的な「餃子」、「肉まん」と「あんかけ焼きそば」を作り、参加者全員で会食をします。

「餃子」「肉まん」の作り方もご指導いた



2026年の宮城県大会（塩竈ガス体育館）

だきます。所属道院に拘らず参加をお願い致します。

宮城県大会開催について

今年の宮城県大会は、9月7日に開催されます。従来の宮城県大会は、「塩竈ガス体育館」でしたが、今年は大規模改修工事に入っていることから、「田尻総合体育館」となります。開催地が少し遠くなりますが、宜しくお願い致します。

大澤隆管長 縁起

成長する喜び、変化を楽しむ夏

先月は、東京別院において道院長講習会の第3次・第4次が開催されました。別院内に新たに本堂および錬成道場が落慶して以降、初めて道院長クラスが一堂に会する本山行事となり、受講した道院長達のたくさん笑顔から、新たな一歩を感じる意義深い時間となりました。今後とも関東以北の拠点として、道院長や門信徒が研鑽し、交流し合う場として、本山事業を押し進める役割が一層高まっていくことが期待されます。

さて、梅雨入り頃から全国各地で熱中症警戒アラートが発令され、今年の夏も厳しい暑さが予想されます。そんな中でも、合

宿やBBC、研修旅行、花火大会など、工夫を凝らした季節の行事を企画する道院も多くあることでしょう。日常の修練とは異なる環境に身を置き、互いに協力して何かを成し遂げる経験は、門信徒一人ひとりの自分磨きや成長の機会となります。特に子どもたちの意外な一面や頼もしい姿に、指導者や保護者が新たな発見をすることも少なくありません。
こうした経験の中で得られるのは、「できることが増える喜び」「昨日の自分を超えていく喜び」、そして「自分の成長を他の人や社会のために生かせる喜び」です。自らが変



2025.07 齋藤家 親子で

今後の予定

- ◎ 7月 6日(日) 宮城武専・昇格考試(青葉体育館)
- ◎ 7月16日(水) 餃子パーティー(古城コミュニティーセンター)
- ◎ 8月 9日(日) 全国少年錬成大会(日本武道館)

わつていくことを受け入れ、その変化のプロセス自体を前向きに楽しむ——そうした心構えが、夏の学びや出会いをより豊かなものにしてくれます。

2025年も折り返しを迎えました。年初に立てた目標に、今だけだけ近づけているかを振り返り、気持ちを新たにするにはちようどよい節目となります。外の暑さに負けて、涼しい部屋にこもってばかりの夏にならぬよう、できることから一歩ずつ、挑戦と成長を重ねていきましょう。自分の変化とその可能性を楽しみながら、充実した時間を重ねていけるよう、今月も金剛禅運動に邁進していきましょう。



2025.7 昇級後道院長と大槻美桜菜拳士

中国古典 紹介

愛は憎しみの始め、徳は怨みの本なり

『管子』

「愛は憎しみの始め」そのへんの流行歌の文句にでもありそうなことばだが、実は今から二千数百年もまえにまとめられた『管子』にあることばである。こういう人間関係の機微は、昔も今もまったく変わっていないのかもしれない。

ではなぜ愛が憎しみの始めになり、徳が怨みの本になるのか。『管子』によれば、報いられることを期待するからだという。つまり欲がからむからである。

2025.3 古城コミセンでの調理室を利用した卒業祝



たとえば親子の情愛である。始めは純粋な愛情から出発しても、だんだん親の期待が芽生え、子供の思惑がからんでくると、せつかくの愛情も憎しみに変わらなくなる。特にしても、本来は自分のためのものである。そのへんを錯覚すると、これまた怨みの本にならかねない。

『管子』は、このことばを挙げたあとで、「ただ賢者は然らず」という一句をつけ加えている。願わくは、そうありがたいものだ。